

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第3部門第5区分  
【発行日】平成17年5月19日(2005.5.19)

【公開番号】特開2000-282389(P2000-282389A)  
【公開日】平成12年10月10日(2000.10.10)  
【出願番号】特願平11-87505  
【国際特許分類第7版】

D 2 1 H 13/40

D 0 6 M 13/35

D 2 1 H 21/36

【F I】

D 2 1 H 13/40

D 0 6 M 13/35

D 2 1 H 21/36

【手続補正書】

【提出日】平成16年7月12日(2004.7.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ガラス繊維が主成分の不織布に高分子化合物層を設けたガラス繊維シートにおいて、不織布が含窒素複素環、硫黄原子の少なくともいずれかを含む有機化合物の金属塩を含有する抗菌防かび性繊維状物質(A)を含有することを特徴とする抗菌防かび性ガラス繊維シート。

【請求項2】

ガラス繊維が主成分の不織布に高分子化合物層を設けたガラス繊維シートにおいて、不織布の少なくとも片面に含窒素複素環、硫黄原子の少なくともいずれかを含む有機化合物の金属塩である抗菌防かび剤(B)と水不溶性高分子化合物(C)を含有する抗菌防かび剤組成物(D)を塗布又は含浸加工を施したことを特徴とする抗菌防かび性ガラス繊維シート。

【請求項3】

高分子化合物層が熱溶融押し出しラミネート法により不織布と積層されて設けられたことを特徴とする請求項1又は2記載の抗菌防かび性ガラス繊維シート。